
九州運輸局メールマガジン 平成 28 年 8 月 12 日 第 338 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けしています。

次回の発行日は平成 28 年 8 月 25 日（木）となります。

◆ 目次

1 現場リポート

- ・南阿蘇鉄道一部運行再開～7月31日から高森駅－中松駅間で～
- ・「貸切バスの街頭監査」を実施～16台中、2台に対して改善指導～
- ・小型船舶の事故縮減に向けて、合同安全講習会や合同安全パトロールを実施！～発航前検査、見張りを確実に～
- ・一般社団法人 北九州港振興協会さんから投稿です～関門港ボート天国を開催しました～
- ・自動車に「車検」があるように、船にも「船検」が存在することをご存じですか？～安定的な海上輸送の確保にも繋がる重要な仕事です～
- ・九州初、離島初のご当地ナンバー「奄美」をPR～奄美大島の夏の風物詩「舟こぎ競争」で実況中継されました～

3 お知らせ

- ・「今こそ、高速バスで行こう！キャンペーン」第二弾実施中～「来てはよい熊本きっぷ」の販売がスタート～
- ・鉄道好きの小学生あつまれー！～本物の列車や運転シュミレーターで列車運転を体験しよう～

4 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場リポート

◆南阿蘇鉄道一部運行再開

～7月31日から高森駅－中松駅間で～

◎4月の熊本地震により全線不通となっていた南阿蘇鉄道が、7月31日に高森駅と中松駅間の運行を再開しました。また、全線の完全復活と南阿蘇の復興を目指した祈念イベント「南阿蘇鉄道復活祭」が開催されました。

◇概要

- ・熊本県東部の高森町と南阿蘇村の立野地区を結ぶ第三セクターの南阿蘇鉄道は、4月14日の熊本地震前震により翌15日から全線運休
- ・7月31日に被害が少なかった高森駅－中松駅間の運行を一部再開
- ・高森駅前特設会場では全線復旧を祈念した「南阿蘇鉄道復活祭」が開催

◇内容

- ・草村大成 南阿蘇鉄道社長（高森町長）が見守る中、午前9時30分に1日駅長の号令を合図に始発便が高森駅を出発、多くの地元住民や鉄道ファン、駅員らが手を

振り運行再開をお祝いしました。

・「南阿蘇鉄道復活祭」では、地元アーティストのライブや南阿蘇や天草の特産物を販売する南阿蘇マルシェが来場者を楽しませました。

◇九州運輸局からのメッセージ

・一部区間の運行再開ですが、108日振りの始発便に乗車する人たちや見送人の方々の笑顔が、南阿蘇鉄道がいかに地域に密着した交通機関かを改めて教えてくれました。また、トロッコ列車の復活も、鉄道ファン・観光客にとっては待ちに待った再会だったでしょう。この日が南阿蘇鉄道復興への大きな第一歩になるはずです。

◇出発式や復活祭の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_338_1.pdf

◆「貸切バスの街頭監査」を実施

～16台中、2台に対して改善指導～

◎国土交通省では、平成24年4月に発生した関越道高速ツアーバス事故を受け、平成25年10月に街頭監査制度が新設し、平成26年11月から街頭監査を実施しています。九州運輸局では、夏季多客期における貸切バスの輸送の安全を確保するため、街頭監査を実施しました。

◇概要

・九州運輸局及び福岡運輸支局が、7月29日に福岡県・太宰府駐車センターにて、駐車中の貸切バス16台に対し街頭監査を実施し、道路運送法等の遵守状況（運転者の酒気帯び、過労運転・健康状態の把握状況、点呼の有無など）を確認。

◇内容

・監査台数：16台（貸切バス事業者12社）
・改善指摘台数：2台（指摘事業者2社、指摘件数2件（車内表示不備1件、アルコール検知器不携帯1件））

◇九州運輸局からのメッセージ

街頭監査の結果、検査台数の12.5%に法令違反が見られ、違反事業者に改善指導を行い、30日以内に一般監査（呼出）を実施し、違反事業者の全車両について改善を確認します。

関越道ツアーバス事故や軽井沢スキーバス事故のような悲惨な事故が二度と発生しないように、安全安心な貸切バスの運行について今後も取り組んでいきます。

◆小型船舶の事故縮減に向けて、合同安全講習会や合同安全パトロールを実施！

～発航前検査、見張りを確実に～

◎福岡運輸支局、若松海事事務所、下関海事事務所では、小型船事故防止に向け海上保安部等と合同で漁協組合員を対象とした安全講習会を、福岡県門司警察署と合同で安全パトロールを実施しました。

◇概要

- ・福岡運輸支局、若松海事事務所、下関海事事務所が、門司海上保安部、仙崎海上保安部、関門海域漁ろう安全協会と共同で、6月2日の山口県漁業協同組合王子支店を皮切りに延べ9日、14の漁協にて、組合員延べ255人に対し安全講習会を実施。
- ・福岡運輸支局は6月12日に門司港（北九州市門司区）にて、福岡県門司警察署の警備艇に乗船し、合同でプレジャーボートや小型漁船に対して安全パトロールを実施。

◇内容

- ・「安全講習会」（6月2日/山口県漁協王司支店、14日/北九州東部漁協今津支所、17日/山口県漁協壇之浦支店、29日/豊前海北部漁協田野浦支所・北九州市漁協大里支所・旧門司支所、7月15日/山口県漁協久津支店、16日/山口県漁協掛淵支店・野波瀬支店、23日/山口県漁協仙崎支店、25日/豊前海北部漁協柄杓田本所、26日/北九州市漁協長浜支所・平松支所・若松支所）
- ・「安全パトロール」（6月12日/門司港、警備艇「かざし」「めかり」）
- ・適切な見張りや、発航前検査の確実な実施の呼びかけ
- ・平成28年7月から、「発航前の検査」及び「見張り」の未実施が小型船舶操縦者法に基づく遵守事項違反となり行政処分の対象となったことの周知

◇福岡運輸支局、若松海事事務所、下関海事事務所からのメッセージ

- ・船舶事故隻数の75%が小型船舶であり、事故原因の「見張り不十分」、「船体機器整備不良」、「機関取扱不良」を合わせると約50%となります。今後もプレジャーボートや小型漁船等の事故縮減を目指して関係機関と連携を図り、合同の講習会やパトロールを通じて周知活動等に取り組めます。

◇講習会や安全パトロールの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_338_2.pdf

◆一般社団法人 北九州港振興協会さんからの投稿です

～関門港ボート天国を開催しました～

7月17日（日）、海の日記念行事「関門港ボート天国」を開催しました。

当日は、梅雨も明け夏らしい晴天で、朝8時50分に開会式が行われ、野畑昭彦・関門港ボート天国推進協議会会長より「平成元年に始まり、今年で28回目を迎えました。この機会に一人でも多くの皆様に、海の楽しさや重要性、さらには、きれいな港づくりなどについて考え、安全に楽しんでください」とあいさつがあり、ボート天国が始まりました。

まず、オープニングを飾るのは、今年で20回目の人気のイベント「SWIM & RUN」です。日頃は一般人には利用できない水域を特別に開放するとあって、毎年、県内外から多くの参加者が集まり、175人がレトロ地区を泳ぎ駆け抜けました。

また、たくさんのボランティアに参加していただいた「ウォーターフロントクリーンマナーアップ作戦」や、長蛇の列ができた「3D海底散歩コーナー」、「巡視船ともなみの一般公開」、「プレジャーボート体験乗船」など、皆さん海のイベントを楽しんでいました。

海のキャラクター撮影会の後には、消防音楽隊による「海辺のコンサート」とカラーガード隊「キタキューティーズ」の華やかな演技でフィナーレを飾りました。

◇関門港ボート天国の写真も頂きました。九州運輸局メールマガジンフォトライブ

ラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_338_3.pdf

(編集部より)

北九州港振興協会ご担当者様、記事の投稿ありがとうございました。関門地区での海の月間のビッグイベント「関門港ポート天国」、毎年多くの見物客や観光客で賑わっているようです。

◆自動車に「車検」があるように、船にも「船検」が存在することをご存じですか？
～安定的な海上輸送の確保にも繋がる重要な仕事です～

◎長崎運輸支局では、長崎総合科学大学船舶工学コースの学生を対象とした、船舶検査の業務説明と造船所での現場見学を合わせた海事執行官業務説明会を開催しました。

◇概要（業務内容説明）

・ 7月22日、長崎総合科学大学（長崎市）、長崎総合科学大学船舶工学コースの学生3人、説明者は長崎運輸支局次席海事技術専門官（船舶検査官）

◇内容（業務内容説明）

・ 検査・測度・外国船舶監督という技術系海事執行官業務の種類、船の検査制度の枠組みと、背景となる法律・国際条約の概要、新造船・就航船における検査の流れ、詳細な技術分野ごとの検査項目など、現場見学に先だてその背景となる部分の説明。

・ 説明担当官からの、自身の経験を踏まえた実態に伴った説明は多岐に渡りましたが、参加した3人の学生さんは、船舶工学の下地があるということもあり、熱心に耳を傾けていました。

◇概要（造船所現場見学）

・ 7月26日、島原ドック協業組合（島原市）、長崎総合科学大学船舶工学コースの学生3人、説明者は長崎運輸支局次席海事技術専門官（船舶検査官）

◇内容（造船所現場見学）

・ 総トン数約750トンの旅客フェリーの船舶検査現場見学。

・ 船体周りの現状確認から始まり、舵、プロペラ、居室、航海用具、救命設備、消防設備、排水設備、機関といった様々な検査項目について、船舶検査官から説明。

・ 一般的な船舶検査期間としておおよそ10日前後要することや、検査項目や規模の関係で1回の臨検で検査が終わらないこと、またドック内では何十名もの作業員の方々が、1隻の船舶の検査に関わっている現状を目の当たりにし、船のボリューム感ある検査の現場を肌身で実感。

・ 特に、解放された船用エンジンを見学するのは初めての学生ばかりで、その解放の程度の細かさや、その他の各種備付設備についても一つ一つ細かく検査を行っている点について大きな関心が寄せられていました。

・ 説明会終了後、長崎総合科学大学から「説明すると非常に関心を持つけれども、なかなか実態を伝えきれない。今回の体験は学生にとって非常に良い経験となった。」という声もいただきました。

◇長崎運輸支局からのメッセージ

・ 現在、日本国内で船舶工学を学ぶことができる大学・高校は非常に限られており、船舶工学の下地を持つ数少ない学生の方々に海事執行官業務に興味をもっていただ

だくことは、今後の日本の安定的な海上輸送の確保にも繋がる重要な取組であり、引き続き産学官連携の上、海事執行官の業務について周知を積極的に実施していきます。

◇海事執行官業務説明会の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_338_4.pdf

◆九州初、離島初のご当地ナンバー「奄美」をPR
～奄美大島の夏の風物詩「舟こぎ競争」で実況中継されました～

◎毎年、島唄や花火大会、奄美の伝統的な八月踊りなど、多彩な催しで賑わう奄美まつりの一大イベント「舟こぎ競争」で、ご当地ナンバー「奄美」がPRされました。

◇概要（舟こぎ競争）

・8月6日（土）、鹿児島県奄美市名瀬佐大熊地区、340メートルのコース、全199チームが参加、奄美自動車検査登録事務所・名瀬財務事務所・軽自動車検査協会の職員でチーム名「陸名軽会（りくならけいかい）」は連続27回目の参加（※名瀬海運支局がメンバー当時のチーム名は「陸名軽海」）

◇内容

・夏の風物詩として、祭りのひと月前ぐらいになると、シマの海岸では、舟こぎの練習が始まります。
・板付け舟と呼ばれる小さな木の舟にこぎ手7人が乗り込み、それぞれのかげ声に合わせて一心不乱にこぎまわります。
・大会当日は、天候不良の雨・風の中での開催となりましたが、雨二モ負ケズ風二モ負ケズ、猛練習の成果を見せようと気合い十分で参戦しました。
・舟こぎ競争中の実況中継では、「ご当地ナンバーの中では離島、九州では奄美ナンバーが唯一で、愛着を象徴する地域ブランドとして、皆さんの車にも島のこころを乗せて走りましょう。是非奄美ナンバーへの変更手続きをお願いします。」など奄美ナンバーに関するアナウンスがありました。
・結果は、健闘むなしく5艇中5位で予選敗退。舟こぎは、シンプルだが奥が深く、7人が団結して力を合わせないとなかなか前へは進みません。
・普段は穏やかな奄美大島の人たちですが、この日ばかりは、舟こぎにける島の人たちの気持ちが見る側にも自然と伝わってきます。集落や職場対抗で行われるので、こぎ手はもちろん応援する人たちにも力が入ります。
・速いチームになればなるほど、一糸乱れぬそのこぎ姿は惚れ惚れするほど美しく、舟こぎで優勝したとなると、島では何よりもカッコいい勲章です。
・舟こぎ競争は間違いなく、島っぴゅが夏で一番熱く燃える一日です！

※我がチームの2番目後には、テレビのバラエティ番組のイモトアヤコさん率いるチームも出走しており、21日の放送（予定）で、ご当地ナンバーのアナウンス場面の放映があれば嬉しいのですが。

◇奄美自動車検査登録事務所からのメッセージ

・平成26年11月17日に交付が始まったご当地ナンバー「奄美」の平成28年3月末現在の普及率は、奄美群島内の普通自動車保有車両数で約17・5%です。「奄

美ナンバー」の導入は、地域振興や観光PRの効果が期待されており、今後も普及への取組をすすめていきます。

◇舟こぎ競争の様子は、九州運輸局フォトライブラリーからご覧ください。
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_338_5.pdf

2 お知らせ

◆「今こそ、高速バスで行こう！キャンペーン」第二弾実施中～
～「来てはいよ熊本きっぷ」の販売がスタート～

福岡、熊本の高速バス運行事業者は、「今こそ、高速バスで行こう！キャンペーン」の第二弾として、福岡と熊本を結ぶ高速バス路線において、高速バス往復乗車券、熊本市内1日乗車券やお買い物券の3つがセットになったお得な切符「来てはいよ熊本きっぷ」を発売しています。ぜひご利用下さい。

○キャンペーン期間：平成28年8月1日(月)～平成28年11月30日(火)

○「来てはいよ熊本きっぷ」概要

- ・高速バス「福岡・福岡空港～熊本線（ひのくに号）」の往復乗車券
- ・「わくわく1dayパス・区間指定1」〈引換券〉
- ・桜の馬場城彩苑で使えるお買い物券（1,000円分）

の3点がセットになったきっぷ

○発売価格 5,000円（※小児、障がい者割引券はありません。）

詳しくはこちらのURLからご覧ください。

<http://www.welcomekyushu.jp/kyushufukkou/informations/detail/67>

○このほかにも九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》の「九州の観光掲示板」にはいろんな観光情報がアップされています。

こちらのURLからどうぞ。

<http://www.welcomekyushu.jp/kyushufukkou/informations/?url=informations>

◆鉄道好きの小学生あつまれー！

～本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう～

10月14日の「鉄道の日」を記念し、毎年10月を「九州レイルマンス」として、鉄道各社が「列車運転」や「運転シミュレーター」の無料体験イベントを開催しています。鉄道大好きな小学生のご応募をお待ちしています。

○列車運転体験

- ・平成筑豊鉄道（10月8日（土）10:00～15:00、金田駅構内、小学3年生～6年生が対象、定員30人）
- ・筑豊電気鉄道（10月15日（土）10:00～15:00、楠橋車庫内、小学3年生～6年生が対象、定員25人）
- ・鹿児島市交通局（10月23日（日）9:00～17:00、神田車両基地、小学3年生～6年生が対象、定員20人）

○運転シミュレーター

- ・九州旅客鉄道（JR九州）（10月15日（土）10:00～16:00、南福岡運転区・車両区、小学生が対象、定員25人）

- ・西日本鉄道（にしてつ）（10月1日（土）10:00～16:00、電車教習所、小学生が対象、定員25人）
- ・福岡市交通局（ちかてつ）（10月29日（土）10:00～16:00、姪浜車両基地、小学生が対象、定員25人）
- ・西日本旅客鉄道（JR西日本）（10月22日（土）10:00～15:00、博多駅構内、小学生が対象、定員20人）
- ・日本貨物鉄道（JR貨物）（10月15日（土）10:00～15:00、門司機関区（訓練室）、小学3年生～6年生が対象、定員16人）

（注）参加費無料・保護者同伴・応募者多数の場合は抽選・9月9日（金）必着です。
運転体験募集のチラシや応募方法は次のURLからご覧ください。
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_338_6.pdf

———— 3 九州運輸局ホームページアップ情報 —————

--- 報道発表 -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

////////編集部だより ///
昨日（11日）は今年から新たに国民の祝日となった「山の日」でした。お盆休みが長くなった方もいたのではないのでしょうか。帰省や観光を楽しむ方で、駅や空港でも多くの笑顔が見られました。このたくさんの笑顔を創っているのは、運輸や観光業界で働く方々の日頃からの安全、安心への取組と心のこもったサービスです。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

- 本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm
- 本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html
- 九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）
mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp
Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192